

メイズリー

- 1 北国の若者たちは
こぞって求愛に出かけました
メイズリーの愛を勝ちとるために
しかし彼女は 誰一人見向きもしません
- 2 若者たちは ありとあらゆる贈り物で
メイズリーに言い寄りました
ブローチと指輪を贈って
メイズリーを求めました
- 3 父親と母親にお願いして
メイズリーを求めました
姉と兄にお願いして
メイズリーを求めました
- 4 部屋から部屋へと
メイズリーを追いかけました
どんな言葉で口説いても
彼女の返事は いつも「ノー」
- 5 「もう 何も言わないで
わたしのことは諦めて
心は イングランドの恋人に
だからもう わたしのは諦めて」
少年は大急ぎで
メイズリーの兄のところに行きました
- 6 台所番の少年が この話を耳にしました
ああ この子に呪いあれ
メイズリーの兄のところに行きました
- 7 「父上と母上はお達者か
三人の弟たちも元気だろうか
妹のメイズリーにも
変りがなければ何よりだ」
- 8 「ご主人様と奥様はお達者です
三人の弟様もお元気です
妹のメイズリー様もお変わりなく
赤ん坊なつかで大きなお腹はなさってますが」

9 「それが本当の話なら
おまえのことを呪ってくれよう
もしもそれがうそならば
高い木に吊してくれよう」

10 兄は妹の館やかたに一目散
心配と悲しみに せきたてられて
メイズリーに会ったとき

彼女は金髪かみを梳といていました

11 「それはいったい誰の子だ
おまえの大きな腹の子は
正直に言わないならば
すぐにでも死んでもらおう」

12 彼女はくるりと背を向けました
櫛くしが手から落ちました
美しい身体からだに震えが走り
バラ色の頬が青ざめました

13 「お兄さん 赦ゆるしてください
正直にお話します
この子は ウィリアム様の赤ん坊
わたしたちは契りを交したのです」

14 「公爵だろうと男爵だろうと
だれでもこの領地くんにに迎えられたはず
選よりによってイングランドの野良犬をつかまえて
この俺様に恥かかせるとは

15 「その子が腹から出てきたときは
野良犬とはきっぱり別れるのだ
ひと時たりとも 奴のそばにとどまるならば
命は無いものと 覚悟するのだ」

16 「この子が生まれる時までならば
イングランドの恋人を諦めましょう」

でもそのあとは一日も ひと時もそれは無理
たとえ命を落しても」

17 「皆のものはどこにいる

養っている手下のものは
アザミとサンザシをかき集め

この卑しい売女ばいたを火あぶりするのだ」

18 「誰か使いはいませんか

火急の用です 助けておくれ

ウイリアム様のもとに急いで

すぐにもこちらへ と伝えておくれ」

19 兄の脇に控えていた

小姓がきつぱり 言いました

「ぼくが お使いに行きましょう

広い世界のどこまでも

20 「今までも よくお使いに行きました

風強く 雨降る中も

今度も ぼくがお使いを

塩しよっぱい涙で頬が濡れますが」

21 壊れた橋に出くわせば

弓を背中に縛って 泳いで渡り

緑の草地に来たときは

靴を脱いで 裸足はだしで走り

22 ウイリアムの営舎に着きました

扉もたたかず 人も呼ばず

胸元に弓を引いた構えのまま

軽々と塀を飛び越え

門番が戸口に来る前に

小姓は中に入りました

23 「小姓よ 屋敷が倒れたとでも

それとも やぐらが陥落おとされたとしても
それとも あの方が身軽こになられたとしても
女の子 それとも 男の子

24 「屋敷は倒れておりません

やぐらも陥落おとされておりません

ただ 国中でもっともきれいなあの方が

今日 あなたのせいで火あぶりです」

25 「黒い馬に鞍を置け

あしげ 韋毛の馬に鞍を置け

町を駆け抜ける馬の中で

いちばん速い馬に鞍を置け」

26 ウイリアムが あと一マイルに近づいたとき

メイズリーは 馬のいななきを聞きました

「ひどいお兄さん 火をもっと強くして

膝まで届いていませんよ」

27 ウイリアムが 戸口で馬を降りたとき

メイズリーは 手綱が鳴るのを聞きました

「ひどいお兄さん 火をもっと強くして

まだまだ 顎まで来ませんよ

28 「お兄さん 火をもっと強くして

わたしにちゃんと届くよう

ウイリアムが 急いでこちらにやってきました

すぐにも今度は あなたの番よ

29 「ウイリー もしもこの手が自由なら

ほんとは こんなに不自由ですが

燃える焔から身をよじり

あなたの息子を投げるのに」

30 「ああ メイズリー おまえの供養に

おまえの父親も母親も

おまえの姉も兄も

みんな火あぶりにしてくれよう

31

「ああ メイズリー おまえの供養に

おまえの一番身近な子^{もの}も火あぶりにして
そして 最後の焚き火の中に
この俺自身を投げ込もう」

(山中光義訳)